

農大日より
第37号



香川農大 Kpac

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/nodai/>

香川農大



香川県立農業大学校

〒766-0004
香川県仲多度郡琴平町榎井34-3
TEL (0877) 75-1141(代)
FAX (0877) 75-3989
E-mail: nodai@pref.kagawa.lg.jp



農大キャラクター
のぎすさん



農大キャラクター
マンチベリー15世



同窓会(卒業生・修了生)だより

高松支部 山地 宏樹
私は昭和62年に香川県立農業大学校野菜コースを卒業しました。今年でちょうど40年(還暦)という節目の年を迎えます。

現在は、香川県農業協同組合に勤務しています。様々な時代の変化の中で、多くの悩みや苦労がありました。そんな中でも、今なお当時の同期の仲間と集まり、昔話に花を咲かせられるという関係性は、何物にも代えがたい一生の財産です。

私自身、卒業から40年が経った今でも、当時の仲間と顔を合わせれば一瞬で学生時代に戻り、励まし合える関係が続いています。社会に出れば、独りでは解決できない壁にぶつかることが必ずあります。そんな時、心から信頼できる同期や先輩、後輩との絆は何よりも心強い支えとなります。農大生のみなさん、厳しい時代だからこそ、人と人との繋がりを大切にし、お互いを尊重し合える素晴らしい社会人を目指して頑張ってください。

皆さんの今後の活躍を心から応援しております。



左端が山地氏

担い手養成科の入学試験

専攻コース・定員 野菜園芸、花き園芸、果樹園芸、林業・造園緑化、畜産 合計45名

推薦入学試験

願書受付期間

8月20日(木)～9月2日(水)

試験日

9月10日(木)

合格発表

9月24日(木)

一般入学試験(前期)

願書受付期間

10月21日(水)～11月4日(水)

試験日

11月12日(木)

合格発表

11月19日(木)

一般入学試験(後期)

願書受付期間

令和9年2月17日(水)～3月3日(水)必着

試験日

令和9年3月11日(木)

合格発表

令和9年3月16日(火)

オープンキャンパス

本校を知っていただくため、各コースの作業体験を中心としたオープンキャンパスを開催します。

①7月11日(土)9時～正午

《作業体験》野菜、花き、果樹、林業・造園緑化、農機

②8月29日(土)

《県内の法人見学会》

③令和9年1月23日(土)9時～正午

《作業体験》野菜、花き、果樹、林業・造園緑化、農機

《就農を支援するための研修》(就農準備研修Ⅱ期)(6カ月間)募集コース

※今回、果樹コースの募集はありません。

募集期間…7月6日(月)～8月6日(木)

適性試験・面接…8月27日(木)

合格発表…試験終了後、郵送にて通知

《農業基礎講座》(6日間)募集期間…6月上旬

講座日程…7月10日(金)～8月7日(金)

技術研修科の研修生募集

【就農を支援するための研修】(就農準備研修Ⅱ期)(6カ月間)募集コース

※今回、果樹コースの募集はありません。

募集期間…7月6日(月)～8月6日(木)

適性試験・面接…8月27日(木)

合格発表…試験終了後、郵送にて通知

《農業基礎講座》(6日間)募集期間…6月上旬

講座日程…7月10日(金)～8月7日(金)

農大見学会

募集期間…6月上旬

開催日

第1回…7月11日(土)

第2回…10月17日(土)

第3回…1月23日(土)

内容…各種研修内容を紹介します。

※このほか、農業経営を発展させるための研修も実施しています。

農大祭

11月21日(土)10時～12時

オープンキャンパスや見学会で、農大の魅力に触れてみては！

校長 安田 英樹

本年四月、農業大学校では、新たに担い手養成科二十四名、技術研修科十二名の入学・入校を迎え、盛大に入学式が行われました。

入学生代表からは、「勉学に励むとともに、友情を培い、協調しあい、農大の伝統を築きあげる」との力強い宣誓がありました。

農大では、本県農林業の未来を支えるため、卒業後すぐに地域で活躍できる知識・技術・経営力を備えた「実践的農業・林業人材」の育成に取り組んできたところですが、さらにその推進力を強め、「かがわの農業・林業」をより一層発展させ、次世代へ継承していくべきと考えています。

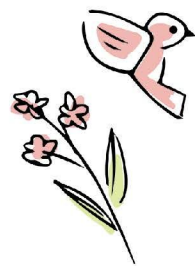
そのため、まずは農大の魅力を皆さんに体感していただきたいと考え、オープンキャンパスや見学会を、年間通じて開催しています。

農業・林業に本気で取り組みたい方も、興味があるもの迷っている方も、是非ご参加いただきたいと思っております。

農大担い手 養成科の紹介

本校の担い手養成科は、学校教育法に基づく専修学校に位置づけられており、卒業生には短期大学卒業相当の学歴とともに「専門士」の称号が与えられ、四年制大学への編入の道も開かれています。教育内容の大きな特徴として、講義と農場実習を組み合わせ、より実践的に学べることが挙げられます。また、普通科高校卒業生も農業の基礎から学べるカリキュラムとなっています。

このほか、本校は、高等教育修学支援新制度の対象機関となっているため、日本学生支援機構の奨学金を利用できます。また、国の新規就農者育成総合対策は、担い手養成科、技術研修科（就農実践研修）が交付対象であり、みどりの青年就業準備給付金は、担い手養成科の林業・造園緑化コースの学生が交付対象です。



してくださり多くの学びがある授業になっています。私が農業大学校を選んだ点の一つとして、在学中に取れる資格の多さがあります。特に、トラクターなどの資格は、学校の教習コースで練習ができ、このような環境は他の学校にはない魅力だと思います。農家として独立するためには多くの時間が必要だと考えていますが、まずは農業大学校での2年間を上手に使っていききたいと思っています。



林業・造園緑化コース



荒川陽飛 出身で、実家は農業をしています。高等学校の修学旅行でドイツニーランドに行った際、花壇や植木などの植栽を見て、とても心を動かされ

新入生の横顔と コースのPR



赤松桂 私は小さい頃から、祖母がしていた農業を手伝っていました。

イチゴやスイートコーン、トマトがずっと好きで、自分でも栽培して味わってみたいと思ったことから、農業経営高校に進学しました。高校の実習では農業の最前線で活躍されている農家さんのもと、高校で身に付けた知識や技術を生かすとともに、新たな栽培方法や経営のしくみなどを学びました。

農大では作業効率が高いイチゴの「らくちんシステム」など、より専門的な知識や技術を学ぶことができ、大型特殊自動車運転免許等の様々な資格を取ることが出来ます。また、さまざまな自治会活動や行事があり、自分のしたいことに、思う存分取り組むことができ、充実した学生生活を送っています。先輩方は兄や姉のように親しく接してくれますので、本当に毎日が楽しく、農業未経験者でも基礎から学ぶことができ、日々農業の魅力を見つけていくこ

ました。私もこのように、人に感動を与えるような花壇や植木の手入れに携わりたいと思うようになりました。高校では花の栽培について学んできましたが、大学では木について学びたいと思い、学校を探していたところ、香川県立農業大学校に林業・造園緑化コースがあることを知り、本校に進学しました。実際に学校の授業を受けてみると、私の知らない専門用語や初めて聞く言葉も、先生方が分かりやすく説明してくださるので、楽しく安心して授業を受けることができます。また、講義だけでなく、実際に習ったことを確認するために、実物を見に行くなど、体験を通して学ぶことができます。さらに、実習の時間も多く、興味あることを気軽に授業で実践するのもお勧めです。



とができます。自分の手で一から栽培し、収穫し、口にしたときの喜び、そしてこのやりがいは一生涯の宝物になると思います。みなさんも私たちと一緒に、農業を盛り上げていく仲間になりませんか。



花き園芸コース



佐野優月 私は、高校時代に造園のことに興味を持ち、花に興味が持てました。農大では切り花の品種改良や収穫・流通の知識を深めたり、市場ニーズに

で鉢花栽培や切り花のことに興味を持ち、花に興味が持てました。農大では切り花の品種改良や収穫・流通の知識を深めたり、市場ニーズに

畜産コース



山家更紗 私は高校で畜産を専攻して学びました。高校では、自分たちで育てた牛の牛肉を試食販売会で販売する実習がありました。自分たちで育てた牛だったこともあり、最初は販売することにあまり乗り気ではありませんでした。ですが、実際に購入して下さったお客様から「自分たちで育てたの？すごいね!」「君たちの高校のお肉はおいしいね!」などの言葉をいただき、自分たちが育てた牛が喜ばれることに大きなやりがいを感じました。この経験を通して、私は消費者に喜んでもらえる牛を育てたいと考えるようになりました。

林業や造園の分野に興味がある方は、ぜひオープンキャンパスに参加してみてください。

また、家畜審査競技の乳牛部門に参加する機会があり、乳牛について学びました。勉強の成果もあり、その大会では優秀賞をいただくことができました。この経験から、牛乳は私たちの食生活や健康を支える欠かせない食品であり、

に加えて土づくりや肥培管理、病害虫など栽培に必要な基礎技術も身につけたいです。将来は、花を通して人々が癒されたり、幸せな気持ちになることができるような仕事に携わりたいと考えています。花の可能性を最大限に引き出して、社会に色どりを添えるプロフェッショナルを目指していきたいです。



果樹園芸コース



畑悠紀 私は、高校生の時に将来を考えた際、農家になって農園の経営を

したいと考え、農業を学べる農業大学校に進学することにしました。高校は普通科だったので、詳しい農業の知識は持っていません。そのため、実習時によく先生に質問をするように心がけています。先生は、基本的なことから細やかに指導

そのもととなる乳牛を育てる酪農の魅力を感じました。これらの経験を経て、将来は消費者に喜ばれる牛乳を生産する酪農家になりたいと考えているようになりました。

さらに詳しく酪農について学びたいと思い、高校の先生に相談したところ、香川県立農業大学校のパネルットをいただきました。そこから自分で調べる中で、家畜人工授精師や大型特殊自動車免許など、さまざまな資格を取得できることを知り、強く興味を持ちました。農業大学校では、畜産試験場での実習や家畜改良に関する講義など、畜産についてより専門的な学びを深めたいと考えています。

2年間の学びを通して、知識と技術をしっかりと身につけ、将来は地域や消費者に信頼される酪農家を目指したいです。

